

圏域名	丹波圏域
会 議	地域医療構想調整会議 平成 29 年度 第 2 回
日 時	平成 30 年 3 月 15 日 (木) 14:25～15:50
場 所	柏原総合庁舎本館 4 階 401 会議室
議 長	篠山市医師会長 河合岳雄
出席者	別紙名簿のとおり
議事次第 概 要	<p>1 2025 年に向けた具体的対応方針について</p> <p>2 地域医療介護総合確保基金事業について</p>
内 容	<p>1 2025 年に向けた具体的対応方針について</p> <p>(1) 概要につき事務局より説明 (資料 1、2 のとおり)</p> <p>(2) 公的医療機関等 2025 プランについて (資料 4、5 のとおり) 各院長より説明 (県立柏原病院、柏原赤十字病院)</p> <p>(3) 各病院の役割、将来の方向性について 各院長より説明 (にしき記念病院、大塚病院、兵庫医科大学 ささやま医療センター、山鳥病院、岡本病院、香良病院)</p> <p><b>【主な意見・質疑】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫医科大学ささやま医療センターは、今後、地域包括ケア病棟 44 床、回復期リハ病棟で 44 床の 88 床が「回復期」に入ることになるのか。 → これまでは病床単位だったので急性期で報告していたが、これからは病棟単位で回復期として報告したい。 (異議無く、了解された。)</li> <li>・2 次保健医療圏域につき、丹波圏域の将来の統合・再編の将来の見通しはどうか。 → 今回の保健医療計画の改定においては、とりあえず丹波医療センターの動向を見ようということ。3 年後の中間見直しでいったん議論になり、そこで見直すか 6 年後に先送りされるかということになる。</li> <li>・新柏原病院のプランについては、圏域の課題に対応したものと して、合意が得られたものとする。</li> </ul> <p>2 地域医療介護総合確保基金事業について</p> <p>(1) 平成 30 年度地域事業提案に対する県の予算措置状況について事務局より説明</p> <p>①たんば医療機関ネットワーク運営協議会「処方・調剤情報共</p>

	<p>有システム構築事業」  → 予算措置なし</p> <p>②篠山市歯科医師会「医科・歯科連携に資する人材養成のための研修の実施」  → 県歯科医師会を通じた補助で対応される見通し。</p> <p>③丹波市歯科医師会「訪問歯科診療推進事業」  → 訪問歯科医療機器の購入については対象外。その他は、県歯科医師会を通じた補助で対応される見通し。</p> <p><b>【主な意見・質疑】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度事業について、在宅医療は市域が一つの圏域となることから、例えば、市域単位で在宅医療に関する多職種の勉強会を計画する場合は対象になるか。</li> </ul> <p>→ 提案に値するとは考える。圏域での医療ネットワークを進めようというのは、県としても基本的にはその方向である。</p>
<p style="text-align: center;"><b>協議が 調った 事項</b></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 兵庫医科大学ささやま医療センターが、急性期から地域包括ケア病棟への転換により、計 88 床が「回復期」となる。</li> <li>2 公的医療機関等 2025 プランについて異議はなかった。</li> <li>3 各病院の役割、将来の病床の方向性についての情報を共有した。今後も調整会議で認識を共有する。</li> <li>4 今後、公的医療機関等 2025 プランを見直す場合や、各病院の役割や機能を大きく変更するなどの場合は、調整会議にて協議する。</li> </ol>
<p>次回以降の予定</p>	<p>平成 3 0 年 6 月頃</p>